



SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による 阿蘇地域の持続的発展プロジェクト

THE 地方創生 WEEK 地域別マッチング会
令和5年2月15日

熊本県 企画振興部
地域・文化振興局 地域振興課

阿蘇の草原は千年以上もの間、人と自然との関わりの中で維持されてきました
このような草原は半自然草原 (Semi-natural grassland) と呼ばれます

草原面積は約 **22,000** ha と日本一の広さです

放牧



放牧頭数

4,702 頭

野焼き



野焼き面積

16,112 ha

採草



採草面積

164 ha

野焼き前



野焼き後





キスミレ



スズラン



ハナシノブ



サクラソウ

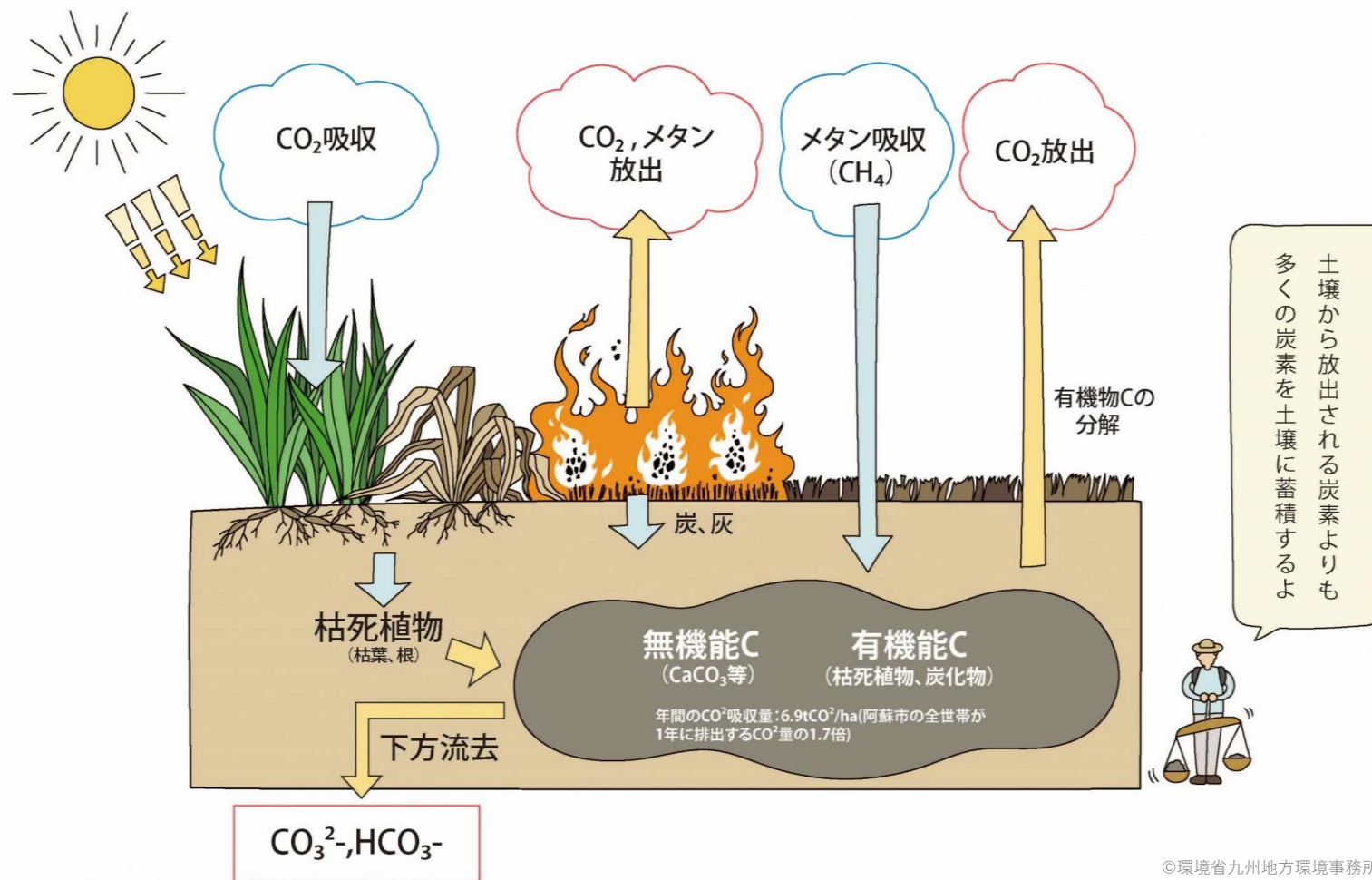
生息する生物
約 **600** 種

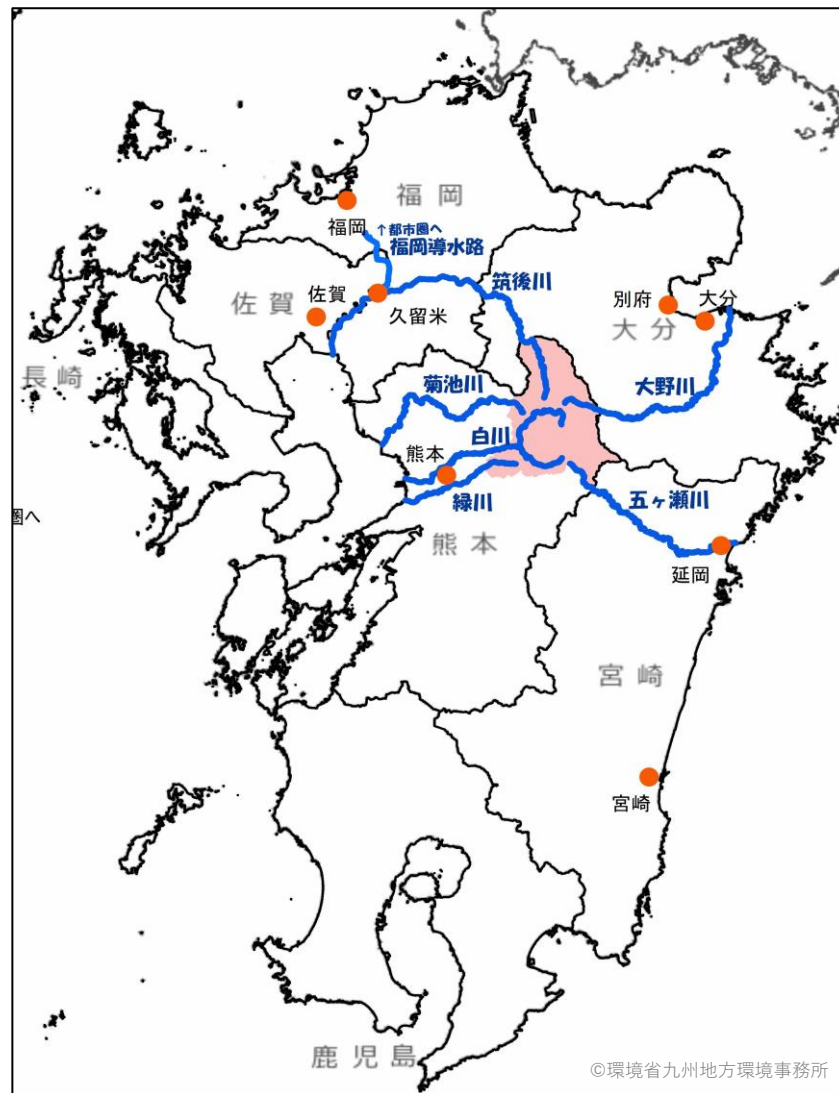
生息する熊本県産のチョウ
109 種 / **117** 種

生息する鳥類
約 **150** 種

ミチノク
フクジュソウヒゴタイ &
カワラナデシコ

阿蘇郡市の全世帯が1年間に排出するCO₂の**1.7倍**相当の量を固定





阿蘇は九州の水瓶

外輪山や阿蘇五岳などの山裾にしみ込んだ雨は、

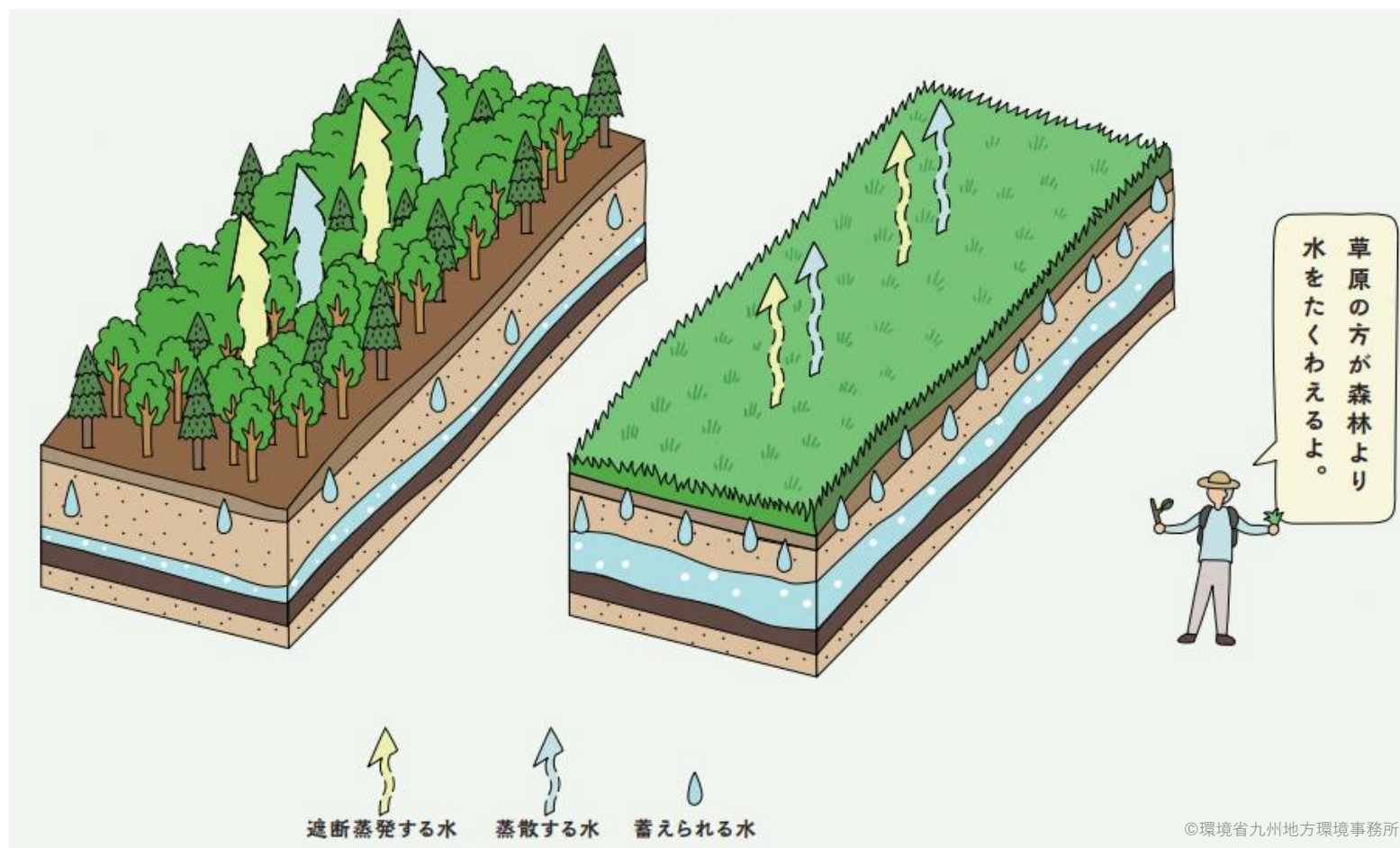
6本の一級河川となって流れており、

流域人口**約500万人**の水を支えています。

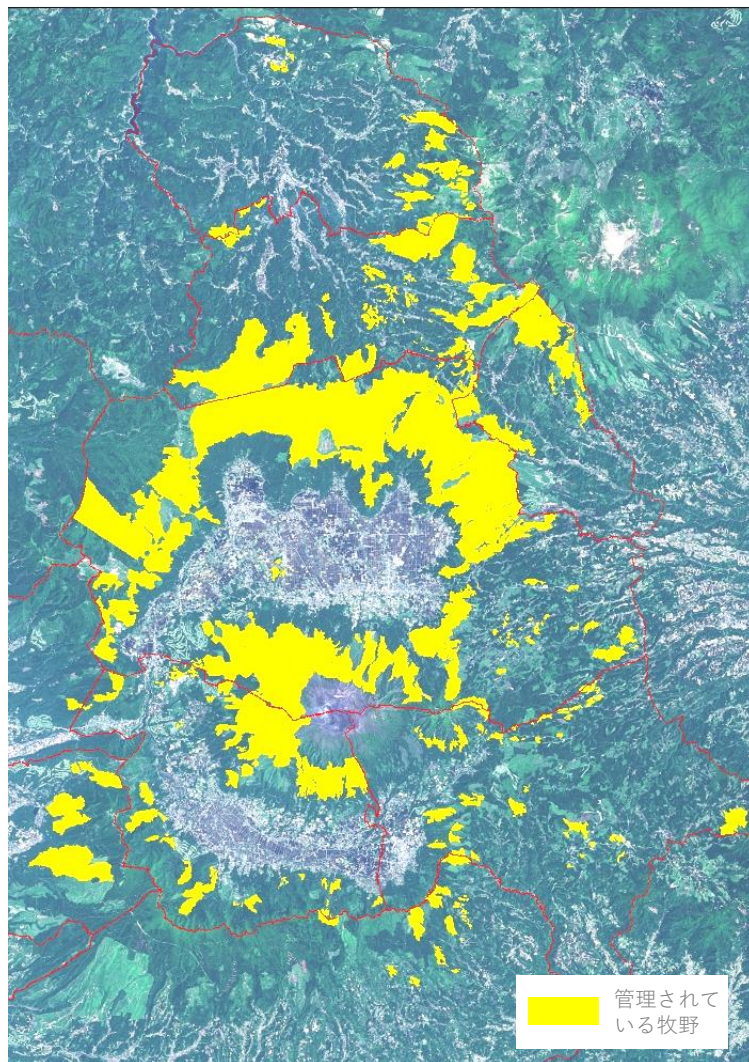
蒸散量（植物から水蒸気が大気中へ放出される現象）

スギ・ヒノキ > ススキ・ササ

阿蘇の草原は森林と比較して、水資源の涵養機能が大きくなっています。

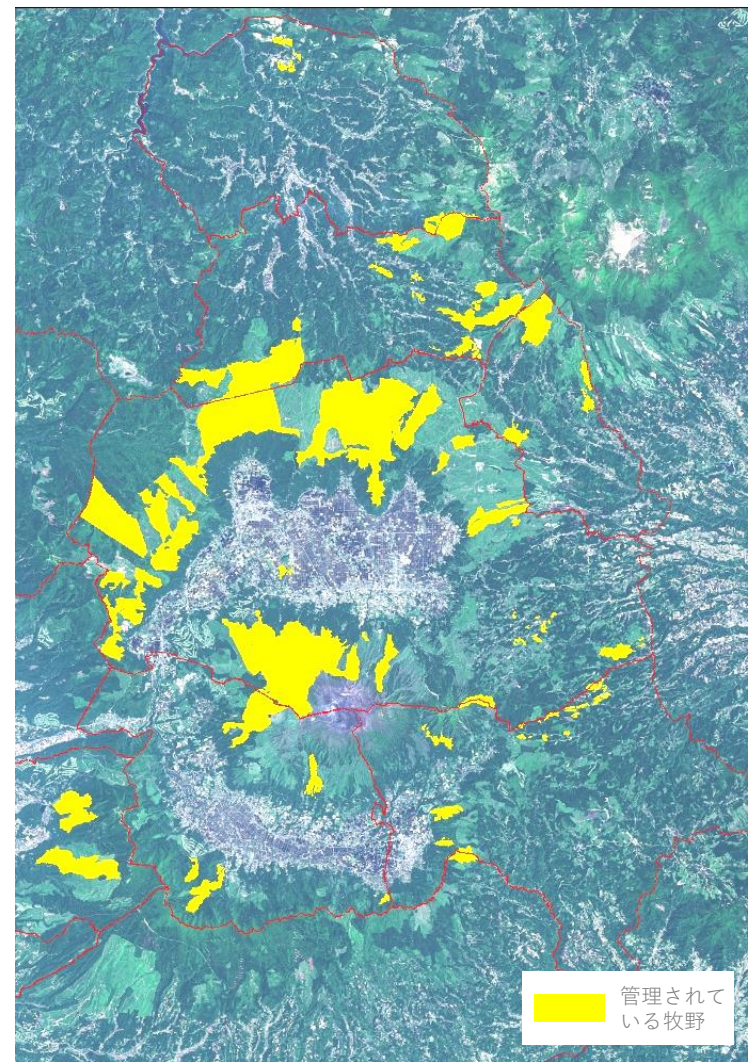


現在

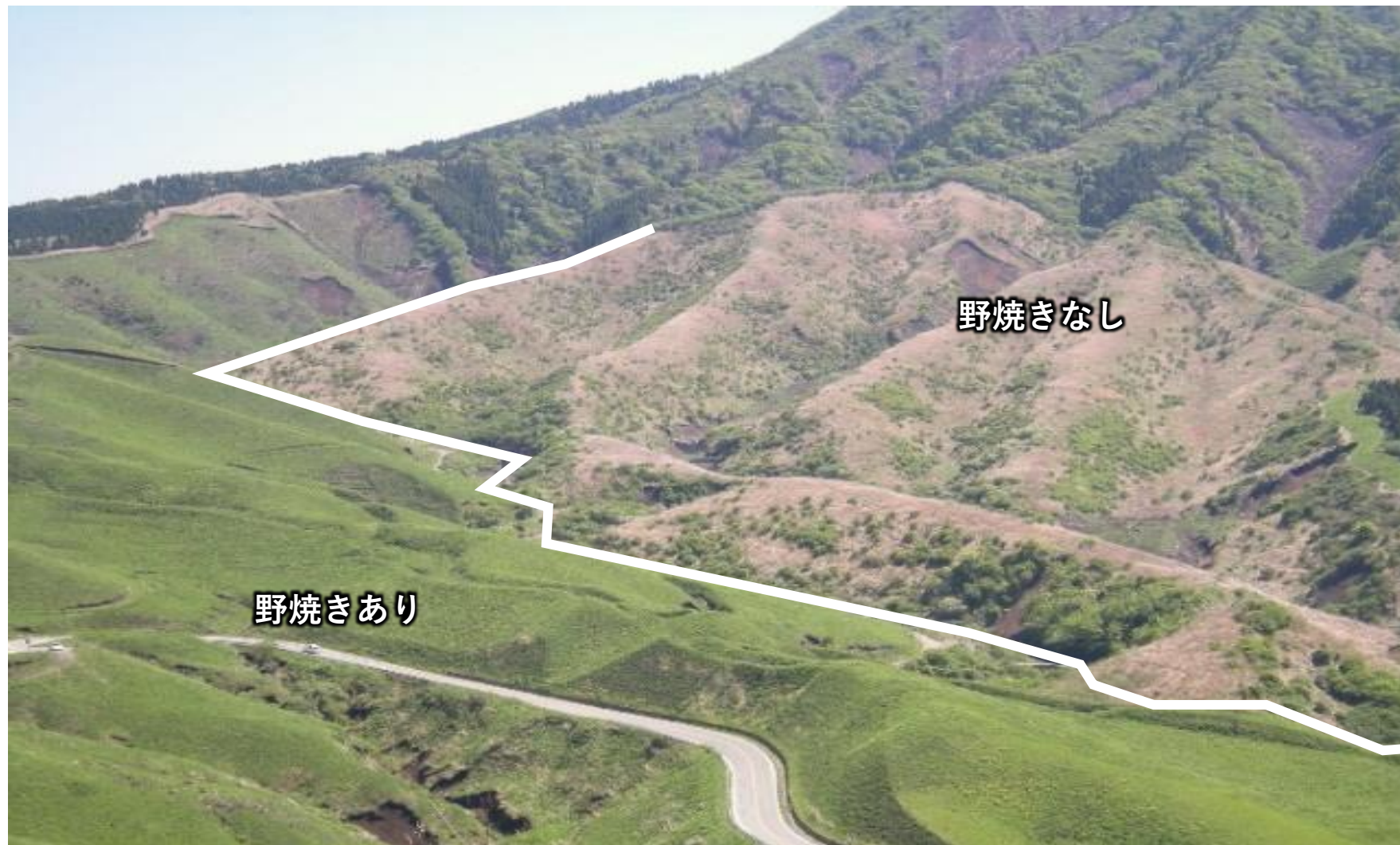


©環境省九州地方環境事務所

30年後（予測）



©環境省九州地方環境事務所



熊本県では、阿蘇の草原を次世代に継承するために以下の取組みを行っており、この取組みに対するご支援を企業の皆様からいただくことで、阿蘇の草原を守ることができます。

① 野焼き後継者の育成

牧野組合員の高齢化や後継者不足によって、草原維持が困難になっていることから、野焼き従事者の後継者育成に向けた支援を行います。



② 野焼きの再開支援

平成28年熊本地震の影響や牧野組合員の高齢化、後継者不足により、野焼きを休止している牧野の野焼き再開に向けた支援を行います。



③ 恒久的な防火帯の整備

草原の維持管理に大きな負担となっている輪地切り作業の省力化を目的に、鉄鋼スラグ等を活用した恒久的な防火帯の整備を行います。



④ ICT技術活用の支援

牧野組合員の高齢化や後継者不足によって、草原維持が困難になっていることから、ドローン等のICT技術を活用した輪地切り及び野焼き作業省力化に向けた取組みを支援します。



⑤ 阿蘇草原応援企業サポーター認証制度

新たな担い手や財源を確保することを目的に、CSR活動として草原維持のボランティアや募金に取り組む企業・団体を「阿蘇草原応援企業サポーター」として認定し、支援します。

認定対象者は、

- ・ 草原維持のボランティアに参加する企業・団体
- ・ 草原維持の寄付や募金を行う企業・団体

「阿蘇草原応援企業サポーター」に認定されるメリット

- ・ 草原維持のボランティアに参加する経費を支援
(15万円/団体)
- ・ 熊本県ホームページや熊本県等が運営する広報媒体に掲載
- ・ 阿蘇草原応援企業サポーターロゴマークを企業・団体のホームページや名刺などに使用可能



企業版ふるさと納税において、阿蘇草原に関する事業に寄付いただいた企業・団体も認定の対象となります！

HPはこちらから





ご清聴ありがとうございました

お問合せ先

熊本県 企画振興部
地域・文化振興局 地域振興課
TEL：096-333-2137